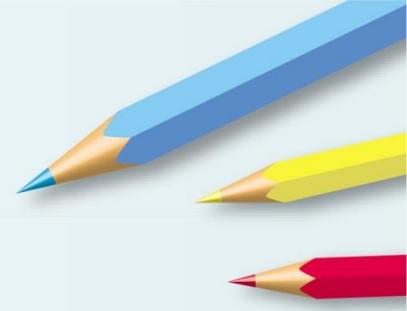


# 在宅における親の介護について①

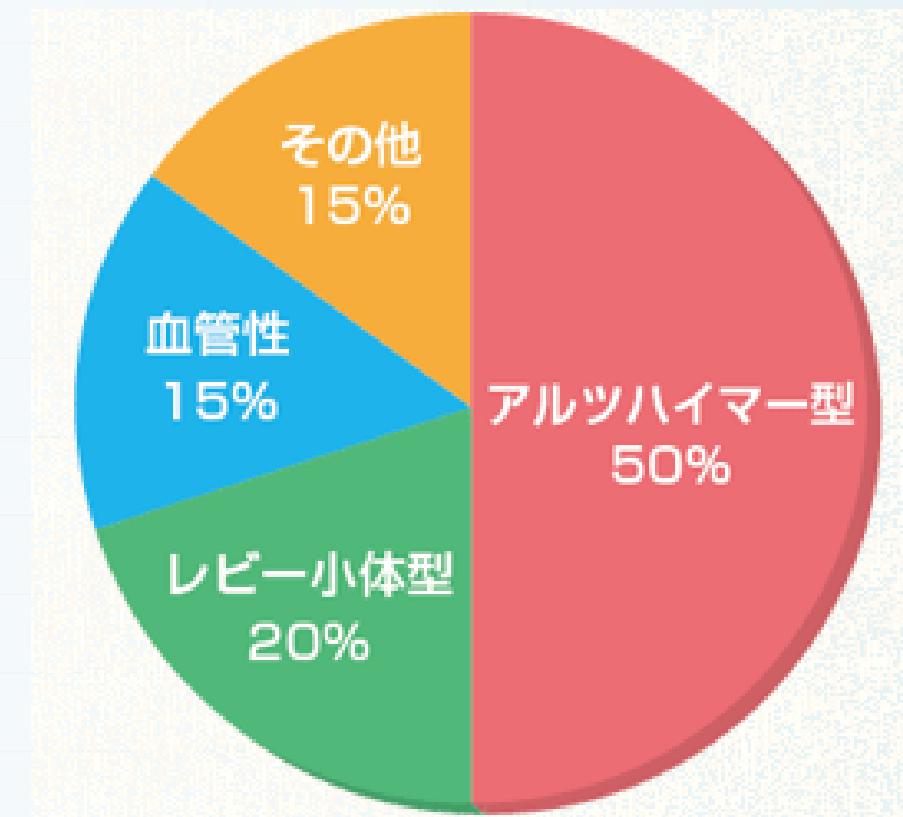
株式会社ウェル  
代表取締役 山村 毅



# 親が認知症になる？！

昔は、「ボケてきた」などと言って病気という認識はありませんでしたが、認知症という「病気」であると思うことが大切です。

## 認知症の種類



### アルツハイマー型認知症 →

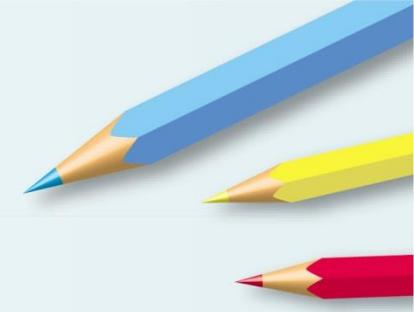
脳にリン酸化タウとアミロイド $\beta$ というタンパク質が蓄積し、それにより神経の働きを妨げてしまうことにより発症する認知症主な症状としてはもの忘れ、同じことを何度も繰り返し発言するなどの中核症状に始まり、その病状はゆっくり進行していきます。症状が進んでくると人や物、時間、場所などの誤認識が始まり、人によっては妄想や徘徊をおこします。

### レビー小体型認知症 →

大脳の皮質の神経細胞内に「レビー小体」と呼ばれるタンパク質が溜まることによって起こります。認知機能障害、特に記憶障害があとから現れる、すなわち、それより先にはっきりとした幻覚（幻視）や、パーキンソン症状が現れます。「子どもがいる」「虫がいる」など。

### 血管性認知症 →

脳出血やくも膜下出血、脳の血管が詰まって起こる脳梗塞など、脳の血管障害である脳卒中がもたらす認知症を「血管性認知症」と呼びます。記憶力が失われても判断力は正常な人や、その日の血流の具合によってできる・できない、思い出せる・出せないなどに変化が出てしまう、いわゆる「まだら認知症」の状態が多くみられるのが特徴です。



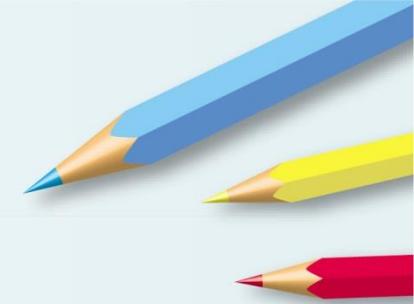
# 家族による親の介護

住み慣れた家で、家族が面倒を見ること…

- ・本人にとって、その方がいいと思う
- ・近所に要介護者だと知らせたくない
- ・お金がからない
- ・子どもが親の面倒を見るのは当たり前、恩返し…

ではあるけれど…

# 家族による親の介護のデメリット



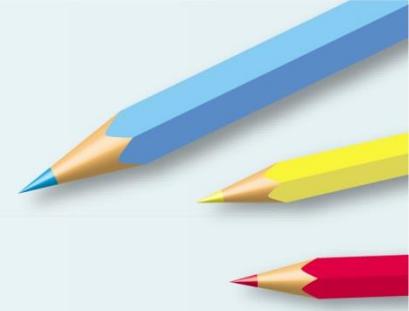
## ① ついつい怒ってしまう

「何で、そんなことするの？」  
「さっき、言ったばかりでしょ？！」  
「同じこと何回言わせるの？」

認知症の人への支援や介助において、  
怒ることはマイナスです。  
(こちらが怒ると本人は不穏になります)



# 家族による親の介護のデメリット

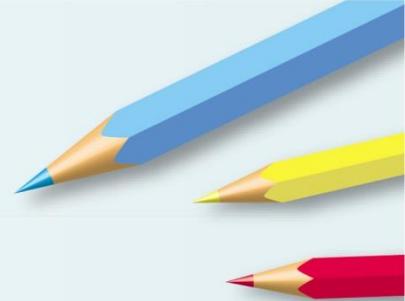


## ② 介護技術(応答、会話、傾聴)が未熟である

認知症の人に理屈でモノを言っても症状は軽減されません。  
笑って傾聴してあげることも技術の一つです。

- ユマニチュード参照
- ある医学博士の遺言参照

# ユマニチュード



フランス人のイブジネスト氏(画像中)らが創り上げた介護手法



## 5つのステップ

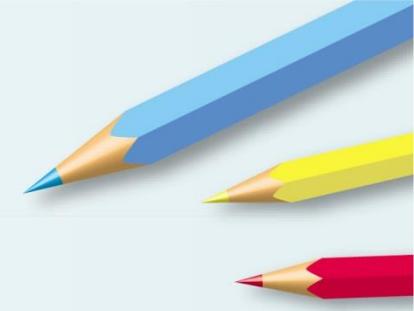
- ①出会いの準備、②ケアの準備、③知覚の連結、  
④感情の固定、⑤再会の約束



## 4つの柱

- 「見る」
- 「話す」
- 「触れる」
- 「立つ」

# 家族による親の介護のデメリット

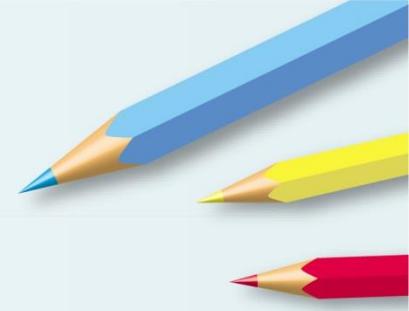


## ③ 介護技術(身体介護技術)が未熟である

- ・おむつやパッドのはめ方にも技術がある。  
いい加減なやり方だと、漏れたり、鼠径部が擦れたりなど本人  
とっても苦痛である。
- ・移乗(ベッドから車いすなど)にも技術があり、  
力づくで行うと、転倒したり、自分が腰痛になったりする。

...

# QOL (クオリティ・オブ・ライフ／Quality of Life)

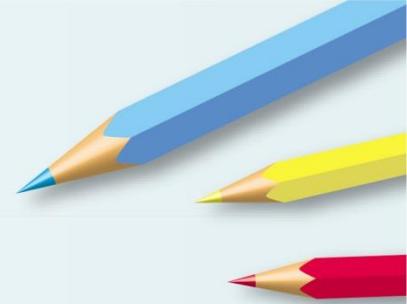


生命の質・人生の質・生活の質と訳されます。

その人の人生において、何が幸せかは本人しか分かりませんが、認知症になってしまったら、ご家族がその人のQOLを考えることになります。

家族で介護をすること?  
第三者に介入してもらうこと?  
施設に入居すること?  
家族に迷惑を掛けたくないと思っている？!  
...

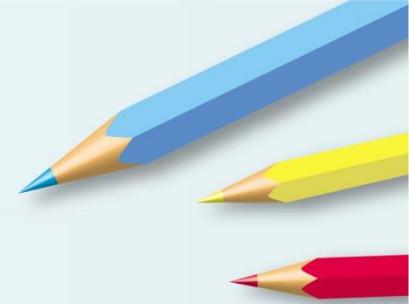
# 在宅での親の介護の一例



- ・だんだんと物忘れがはげしくなり、要介護認定されたら要支援2と判断された。
  - 同じことを何度も言ったり、聞いてきたりするので、自分(子ども)が怒ってしまうことが多くなった。
  - 家にいるときは、ぼーっとテレビを見ることが多くなった。
  - あんなに優しく、いつも笑顔だった母から笑顔が消えてしまった。

→認知症がどんどん進んでしまう……

# まとめ



「介護に正解はない」と私はよく職員に言います。

その人のQOLを考え、その人にとって、どういう過ごし方が正解だったのかは本人しか分からないからです。

でも、職員にもストレスがからず笑顔で仕事ができ、本人が笑って1日を過ごし、ご家族もそれでOKと思ってくれたら我々の中では正解と認識しています。

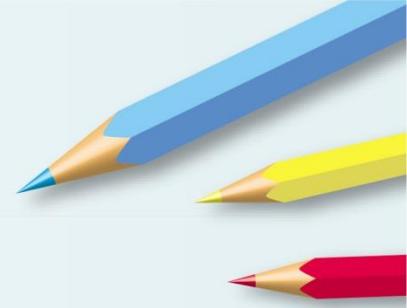
当社の方針は

「職員が笑顔でなければ、利用者様は笑顔になれない」

です。この方針に我々の考える正解が  
込められています。



# まとめ



施設入居が必ずしもいいとは言いませんが、要支援、要介護になつたら、介護保険制度は利用すべきだと思います。まずは在宅ヘルパーを利用したり、デイサービスを利用したりなどから始めてはいかがでしょうか？

第三者が介入することで、介護をするご家族が、介護から解放される(レスパイト)時間ができ、お互いのストレスが軽減され、いい関係になることもあります。

以上